

5. その他の規格保持について

(1) 強度等の値について

本規格第22条に定める強度等について社団法人仮設工業会において行った試験の結果は表1-1・表1-2のとおりであり、これらの規定に適合するものであること。

表1-1

型式		YKHF-2418a					
供試体 No.		1	2	3	4	5	構造規格
たわみ及び 曲げ試験	荷重0.94kN時の 鉛直たわみ量 (mm)	7.8	8.5	7.7	7.8	8.1	11以下
	中央部の 最大強度 (kN)	4.51	4.8 以上	4.8 以上	4.8 以上	4.2	2.35以上
供試体 No.		6	7	8	9	10	構造規格
つかみ金具の本体及び取付部の せん断強度 (kN)		16.8 以上	16.8 以上	16.8 以上	16.8 以上	16.8 以上	8.40以上
つかみ金具の外れ止めのせん断 強度 (kN)		6.0 以上	6.0 以上	6.0 以上	6.0 以上	6.0 以上	2.94以上

(試験実施年月日 平成18年10月26日)

表 1-2

型式		YKHF-4818a					
供試体 No.		1	2	3	4	5	構造規格
たわみ及び 曲げ試験	荷重1.87kN時の 鉛直たわみ量 (mm)	9.0	9.1	9.0	9.5	9.0	11以下
	中央部の 最大強度 (kN)	8.0 以上	8.0 以上	8.0 以上	8.0 以上	8.0 以上	4.70以上
供試体 No.		6	7	8	9	10	構造規格
つかみ金具の本体及び取付部の せん断強度 (kN)		23.3	21.3	22.9	21.6	19.3	16.8以上
つかみ金具の外れ止めのせん断 強度 (kN)		6.0 以上	6.0 以上	6.0 以上	6.0 以上	6.0 以上	2.94以上

(試験実施年月日 平成18年10月26日)

(2) 材質及び構造について

表2に示すとおり、本規格第20条(床材、布材及びはり材は除く)及び第21条の規定に適合するものであること。

表 2

種類		床付き布わく	
型式	YKH-2418a、YKH-2415a、YKH-2412a、YKH-2409a、YKH-2406a、YKH-4818a、YKH-4815a、YKH-4812a、YKH-4809a、YKH-4806a、YKHF-2418a、YKHF-2415a、YKHF-2412a、YKHF-2409a、YKHF-2406a、YKHF-4818a、YKHF-4815a、YKHF-4812a、YKHF-4809a、YKHF-4806a	構造規格	
材料	つかみ金具	SS400	SS400 (第20条)
構造 及び 寸法	床材間のすき間 (mm)	0	30以下 (第21条第2号)
	長さ (mm)	YKH-2418a、YKH-4818a (1800) YKH-2415a、YKH-4815a (1500) YKH-2412a、YKH-4812a (1200) YKH-2409a、YKH-4809a (900) YKH-2406a、YKH-4806a (600) YKHF-2418a、YKHF-4818a (1829) YKHF-2415a、YKHF-4815a (1524) YKHF-2412a、YKHF-4812a (1219) YKHF-2409a、YKHF-4809a (914) YKHF-2406a、YKHF-4806a (610)	1850以下 (第21条第3号)
	幅 (mm)	YKH-2418a、YKHF-2418a、YKH-2415a、YKHF-2415a、YKH-2412a、YKHF-2412a、YKH-2409a、YKHF-2409a、YKH-2406a、YKHF-2406a (240) YKH-4818a、YKHF-4818a、YKH-4815a、YKHF-4815a、YKH-4812a、YKHF-4812a、YKH-4809a、YKHF-4809a、YKH-4806a、YKHF-4806a、(480)	240以上500以下 (第21条第4号) 低層わく用500(第21条第4号)
	つかみ金具の 取付方法	ボルト及びナット(M8)により 接合したもの	溶接又はリベット等により接合したもの (第21条第6号)
	つかみ金具板厚 (単板型のもの) (mm)	8	7.2以上低層わく用5.4以上 (第21条第7号)
	つかみ金具 外れ止めの有無	有	有 (第21条第8号)

6. 規格第20条の規格と異なる部分に関する検討

(1) 規格第20条では、床材はSPHC又はXS42の規格、布材及びはり材はSPHCの規格の材料を使用するものと定められているのに対し、本申請品は床材・布材・はり材共にA6063S-T5のアルミニウム合金を使用している。

床材・布材は押出成形材の利点を活かし一体化し、肉厚を1.4mmとしている。また、はり材はチャンネル形の押出成形材を使用し肉厚を2.0mmとすることで断面性能を向上させ、表1-1・表1-2のとおり規格第22条で定める強度を保有し、且つ、規格第20条で定める材料を使用したものと同等以上の強度を有する。

